

学校だより

# かしわの葉

美幌町立美幌小学校 第7号

〒092-0062 網走郡美幌町西2条北4丁目1番地 TEL 0152-73-2019 受付時間 7:40~17:00(通常時)

【学校教育目標】

できること いっぱい みつけよう  
自立する柏っ子

◇やりとおす ◇かんがえる  
◇つたえあい ◇ふれあい  
◇みとめあい

令和7年 10月 1日 発行  
文責 校長 水野 利幸

## 令和7年度学校評価アンケート（1回目）の結果から

7月下旬に、本校の児童・保護者・教職員を対象に行った今年度第1回目の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回のアンケートは、今年度の重点教育目標である『つなぐ・つながる 美幌小学校』における「学びをつなぐ」「心をつなぐ」「地域とつながる」の重点項目について、これまでの状況を捉えられるよう実施しました。児童アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートを並べ、関連項目ごとに、それぞれの捉え方の違いが分かるように整理しています。また児童アンケートには、経営理念のキーワードである『ウェルビーイング』の観点からの質問項目を加え傾向が見えるようにしています。

集計の結果、児童アンケートでは、「学校の授業はわかりやすい」「体育の時間や休み時間などで、たくさん体を動かしている」「やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている」の項目で評価が高く、子どもたちが友達と仲よくしながら、意欲的に学校生活を過ごしている様子が読み取れました。また、「学習のきまり（学習規律）を守って学習に取り組んでいる」の評価が高く、「学校の授業はわかりやすい」も高めとなったことから、今後も指導法を工夫・改善していきたいと考えます。保護者アンケートでは、「お子様は、楽しく学校に通っている」「お子様は、自分のよいところを知っている」「お子様は、やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている」等の項目でよい評価でした。引き続き子どもたちが楽しく学校に通えるよう、教育活動を充実させてまいります。

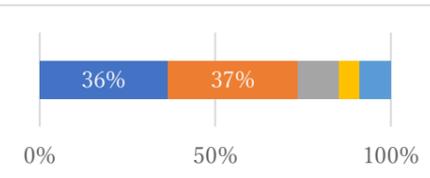
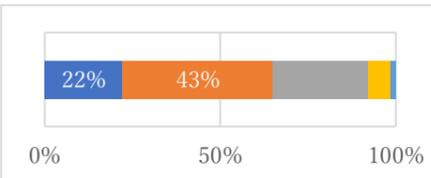
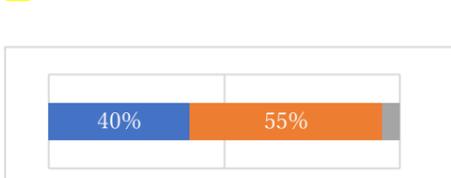
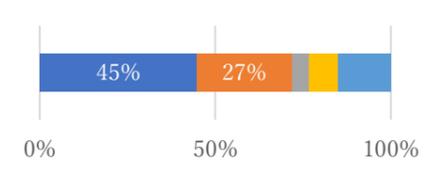
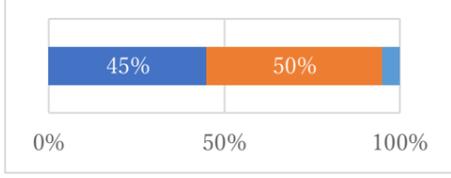
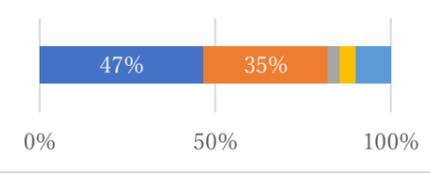
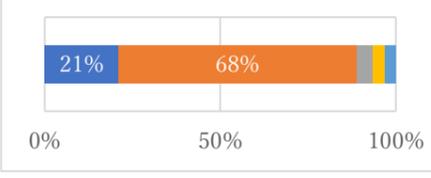
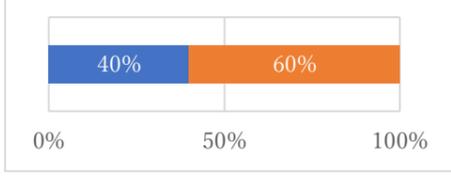
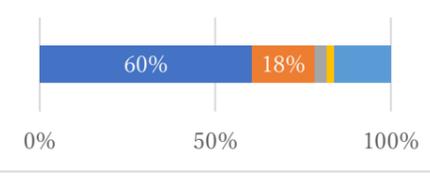
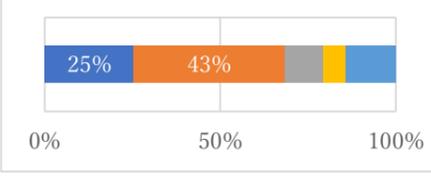
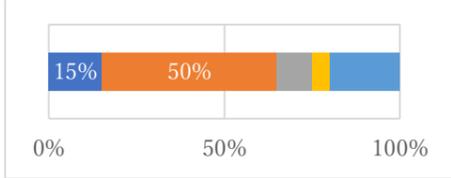
児童アンケート、保護者アンケートの両方から見られる課題は、「読書習慣の定着」です。子どもたちが主体的に学習や読書に取り組めるよう、よりよい取組は継続し、さらに情報発信に努めてまいります。

保護者の皆様からの回答数は62件でした。なお、記述回答でいただいたご意見は、教職員・学校運営協議会・PTA役員会で共有し、今後の指導計画や学校運営の在り方を見直す際の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

### 《アンケート結果の見方》

- ・帯グラフ……対象の回答者全体を100とした時、左から  
「している（思う）」など、肯定的回答  
「どちらかといえば、している（思う）」など、やや肯定的回答  
「どちらかといえば、していない（思わない）」など、やや否定的回答  
「していない（思わない）」など、否定的回答  
「わからない」  
の順に並べ、その割合を表しています。  
肯定的評価、やや肯定的評価のみ数値を表記。（単位％）
- ・肯定的・やや肯定的な回答が80%以上の質問項目は、◎がついています。
- ・肯定的・やや肯定的な回答が50%以下の質問項目は、△がついています。
- ・参考として、結果から窺える考察を加えています。

	重点項目	児童	保護者	教職員
○ 学びをつなぐ	◎学習規律・家庭学習習慣の定着等の学びの基盤づくり	◎「学習のきまり」(学習規律)を守って学習に取り組んでいる  ・自分で目標を決めて家庭学習（宿題・自主学習・読書）に取り組んでいる 	・お子様は、家庭学習の習慣が身につけている 	◎「学習のきまり」(学習規律)の定着を図っている  ・家庭での学習習慣の定着を図っている 
	◎わかる・できるが実感できる授業の習慣化とICTの活用推進	・学校の授業はわかりやすい  ・友達と話し合う活動(タブレットを使うことも含む)を通じて、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができる ※中学校区共通項目 	・お子様は、「学校の授業はわかりやすい」と言っている 	◎ICTを効果的に活用できる指導や授業展開を工夫している 
	◎主体的・対話的で深い学びを意識した授業	※中学校区共通項目(4年生以上) ◎自分の考えを文章で書くことができる  ・理由をはっきりさせながら、文章で説明したり、表現したりすることができるようになってきている 		・子どもは、自分の考えを文章で書くことができる。  ・子どもは、根拠を示しながら文章等で説明・表現する力がついてきている。 
	◎体育授業の工夫改善	◎体育の時間や休み時間などで、たくさん体を動かしている 	・お子様は、進んで運動や外遊びをしている 	◎運動量のある体育授業や特別活動を行うなど、体力向上の取組をしている 
	◎読書活動、学校図書館の充実	△学校や家などで毎日読書している 	△お子様は、家庭で読書に親しむ習慣が身に付いている 	◎学校図書館の積極的な活用を働きかけるなど、読書に対する関心意欲を高めている 

	<p>○家庭学習への取組は昨年同時期より向上しています。今後も、家庭学習の取組が学校の授業と連動し、子ども自身が家庭学習に必要感や有用性を感じることができるよう引き続き取組を進めていきます。</p> <p>○先生方の日常的な教材研究、校内研修を中心とした授業改善の結果、学習規律が向上し、「わかりやすい」が80%に近い結果になったと考えられます。今後も継続していきます。</p> <p>○ICTを活用した授業展開が日常的に行われています。今後も継続しながら、より効果的な実践成果について校内研修等で交流し、主体的・対話的で深い学びを一層充実させていきます。</p> <p>○「書くこと」について苦手感が減っているようですが、今後も授業の中に書く活動を位置付けていくことが大切になります。「理由を書く」「条件（文字数・キーワード）に合わせて書く」等を重点とするなど、教科横断的に日常授業のねらいにあわせて取り入れていくことが必要だと考えています。</p> <p>○今後も自ら運動に親しもうとする態度を育むとともに、健康な体づくりの取組を進めていきたいと考えます。</p> <p>○読書量がとても少ないと考えられます。学校での読書量を最低限確保しつつ、ご家庭と連携して推進していくことが大切だと考えます。</p>			
○心をつなぐ	<p>◎あいさつや言葉づかいなど、基本的な生活習慣の定着</p>	<p>・だれにでも元気にあいさつをしている</p> 	<p>・お子様は、誰にでも元気にあいさつをすることができている</p> 	<p>◎率先して挨拶ができるように指導している</p> 
	<p>◎児童会活動や行事など、一人一人が活躍できる場面の設定(自己肯定感の育成)</p>	<p>・先生は、あなたのよいところを認めていると思う</p> 		<p>◎長所や努力している姿を積極的に探し、本人や周りの人に伝えている</p> 
	<p>◎道徳教育・人権教育の推進</p>	<p>◎やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている</p> 	<p>◎お子様は、やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている</p> 	<p>◎友達を大切にし、やさしい言動で接するように指導している</p> 
	<p>◎生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実(いじめ・不登校の早期発見)</p>	<p>・自分の悩みや心配事などを、先生が聞いてくれる</p> 	<p>・学校は、子どもたちの悩みや問題行動について、適時適切に対応している</p> 	<p>◎子どもたちの悩みや問題行動について、適時適切に対応している</p> 
	<p>○挨拶については学校内より、世情により学校外（家庭）での定着度が低いとも考えられます。</p> <p>○日常的に子どもたちに目を配った担任による学級経営に加え、担外の先生方も含め学校全体で子どもたちを見守り育てていきます。</p> <p>○友達を大切にしたいという気持ちが強いことが伺え、今後も積極的に児童一人一人の「よさ」を伝えていき対と考えます。</p>			
○地域とつながる	<p>◎地域人材や地域力の活用と地域学習の推進</p>			<p>・地域の「ひと・もの・こと」に関わる体験活動の充実を図っている</p> 

	◎9年間を見通した 小中連携教育の 推進		・義務教育9年間を見通し、幼稚園・保育園・中学校との情報交流などを通して連携した取組をしている		
	◎家庭や地域と連携した望ましい生活習慣の定着	・学校は、子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している	◎子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している		
<p>○各学年で行っている校外学習などで地域人材や地域教材の活用が見られますが、今後も学習内容の充実につなげていきます。</p> <p>○小中連携については、中学校区（主に北中。東陽小）での、在校生や卒業生等の情報共有とあわせ授業交流を継続していきます。</p> <p>○学校の情報発信について、ある程度評価をいただいている。個人の記録媒体の使用禁止によりリアルタイムでの掲載はできなくなっています。可能な範囲で家庭と学校が情報を共有できるよう、よりよい情報発信に努めていきます。</p>					
○その他	* ウェルビーイングの向上	・学校(に行くの)は楽しいと思う	◎お子様は、楽しく学校に通っている		
		・自分にはいくつかよいところがあると思う	◎お子様は、自分のよいところを知っている		
		◎将来の夢や目標を持っている	・お子様は、将来の夢や目標を持っている		

○「学校に行くのは楽しい」と感じている児童の割合が、昨年度より増えており、概ね学校生活に満足できている児童が多いと考えます。「楽しさ」が関係しているのではないかと考えられます。

○「自分にはよいところがある」と感じている児童の割合は昨年度より若干減っていることから、今後も子供一人一人に寄り添い、時には褒めたり、時には共感したり、時には尊重したりなど、見とったことを伝えていくことが大切であると考えています。

※保護者アンケート記述欄より

盗撮対応についての質問がありました。美幌町の事件ではありませんが、教職員の不祥事について危機感をもって対応する必要があると考えます。校内施設の点検（実施済）及び服務規律について再度認識を共有するための校内研修も行いました。また、基本的に教職員が個人のスマホ等（学校備品のデジカメやタブレット端末は除く）を教室に持ち込まないことを徹底します。また、相談窓口は教頭となっておりますので、ご心配の点等ございましたらご連絡をお願い致します。

保護者の皆様からいただいたご意見を受けとめ、今後の学習指導・生徒指導の充実に努めてまいります。